



追分高校です65

第63回卒業証書授与式

3月1日、追分高校で第63回の卒業式が挙行されました。30名に及ぶご来賓のご臨席を賜り、心に残る素晴らしい卒業式になりました。宮原校長は卒業生25名一人ひとりに卒業証書を手渡し、「卒業生一人ひとりの取り組みが後輩へと受け継がれ、素晴らしい高校になってきました。追分高校で成長した自分に誇りをもって頑張つてほしい」と卒業生に対する思い出を交えて式辞を述べました。凛とした



表情で、しっかりと背筋を伸ばして式辞を聞く卒業生の姿が印象的でした。

答辞は生徒会長を務めていた藤田美由貴さん。送辞を担当した妹の聖夜さんの言葉を胸に、しっかりとした口調で、「これからは在校生の皆さんが、追分高校を支えて創っていくてください。苦しいことや悩むこともいっぱいありますが、皆さんの隣には級友や先生たちがいます。友達を大切にして、悔いの残らないよう、自分にできることは全部やってみてください。私たちを陰で支えてくれた先生方や保護者の皆さん、本当にありがとうございます。感動的な答辞でした。

胆振管内教育実践表彰 受賞

3月22日、本校校長室にて平成28年度胆振管内教育実践表彰式が行われました。教育実践表彰は、学校教育や社会教育において、優れた実践活動を推進している団体や個人が対象となる表彰で、追分高校は、特色ある教育活動の推進として、ボランティア活動の取組みが高く評価されました。



学校全体の取組みやボランティア同好会を中心とした有志生徒の活動など、その形態は様々でしたが、安平町の地域社会に根ざした数多くの活動が、幼小中高連携を図る中で、地域活性化の一助となったの



表彰状の伝達

ではないかと考えています。活動を通して、生徒たちは地域社会の方々と交流を深め、社会奉仕の精神や感謝の気持ちを持つことができました。表彰式には、阿部清明胆振教育局長をはじめ豊島教育長も列席し、本校職員、生徒会役員が立ち会い、生徒会長の藤田聖夜さん（2年）に、教育局長から表彰状が手渡されました。額縁に入った立派な表彰状を手にした藤田さんは「地域の方から、『ありがとう』というお礼の言葉や『頑張つて』という励ましの言葉をもらって、とても嬉しく思い、意欲的に活動することができました。これからも継続して取り組みたい」と述べました。

▼4月の行事予定

- 10日 始業式・着任式
- 11日 入学式
- 12日 対面式・オリエンテーション、3年進路ガイダンス
- 13日 2年進路ガイダンス
- 14日 1年進路ガイダンス
- 17日 各種委員会
- 18日 各種委員会
- 18日 19日 リーダー研修
- 28日 交通安全教室

追高＝一人ひとりが主役の学校
 追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会え、誰もが主役になれる学校です。
 追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。
追高＝一人ひとりを伸ばせる学校

▶皆さんのご意見をお寄せください◀
 北海道追分高等学校 (☎・FAX ☎ 2555)
 〒059-1911 安平町追分本町7丁目8番地
 ホームページで「追校の今」をご覧ください。
 【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】